



荒川区西日暮里2-55-1  
国鉄労組東京地方本部  
発行責任者 鎌田博一  
編集責任者 常盤達雄

No.1792

2016年  
3月5日

**大幅賃上げ  
雇用の拡大豊かな社会へ  
共に闘う16春闘**

# 第105回 拡大地方委員会 16春闘方針を確立

東京地方本部は、二月二〇日に新橋交通ビルにおいて、第一〇五回拡大地方委員会を開催した。

一〇時三〇分に山田副委員長の開会あいさつで始まり、委員会議長には田中委員(新橋)を、副議長には小助川委員(新橋)を選出した。

まず鎌田委員長あいさつが行われ(内容別掲)、続いて来賓あいさつでは、上部機関から東日本本部・佐藤書記長、全国交通共済東日本事業本部・松井本部長、国労東京議員団・河野事務局長(新宿区議)からあいさつがされた。



**歓迎  
国労加入  
大宮車両所  
分会  
2/5付  
24才**

議事に入り、松川書記長から経過報告・当面する方針(案)の提案がされ、昼食休憩を挟み、春闘標語コンクール、組織拡大ポスターコンクールの表彰式が行われた。討論に入り、二三名の委員から、組織強化・拡大の取り組みや、委託・下請けに関する問題、GSの正社員登用やJESSなどグループ会社社員の労働条件に関する問題、安全・安定輸送の問題、一六春闘の取り組み、JR貨物の賃下げの問題など、さまざまの委員の発言の内容は次号掲載予定)その後書記長集約が行われ、当面する

## 春闘標語コンクール

**入選**  
大幅賃上げ 雇用の拡大 豊かな社会へ  
丸山優太 共に闘う一六春闘  
大宮車両所分会

**佳作**  
賃上げで生活向上を 一人一人の力を  
高橋 章 大宮車両所分会

## 組織拡大ポスターコンクール

池袋運輸区分会の作品  
神奈川地区本部の作品

**無料 法律相談**  
毎月第二水曜日  
14時～16時(一回30分)  
★できるだけ予約願います  
★緊急の場合は連絡を

**国労東京 第105回拡大地方委員会 執行委員長あいさつ**

はじめに、安倍政権政治と対決する取り組みの強化についてです。  
安倍政権は特定秘密保護法制定、集団的自衛権行使容認等を断行し、「戦争法」を強行成立させるなど、平和憲法が最大の危機を迎えています。「平和国家日本」を「戦争国家日本」へと転換する最大の暴挙であり断じて容認することはできません。同時に、労働分野の規制緩和を推し進め、労働者保護ルールの根幹を破壊する動きを強めています。私たちは、安倍政権と対決する中から退陣に追い込み、護憲・平和・民主主義をはじめ、「武力によらない平和」を求める広範な仲間との連帯を固め、全ての力を傾注しなければなりません。「戦争法の廃止を求める統一署名」行動に全力を挙げるため、地方本部は、4月16日に一斉街頭宣伝署名行動を展開します。また、原発事故からまもなく5年が経つ今も、被災者に多くの不安と負担を与えています。事故の原因究明や収束もありません。原発再稼働に突き進んでいます。脱原発で闘う全国の仲間と共に、3・12「原発のない福島を！県民大集会」をはじめ、風化させないための諸行動に、連帯行動を強めていきます。

次に、2016年春闘の取り組みについてです。  
安倍政権は、新3本の矢を打ち出しました。これは、「戦争法」への批判をそらすことと合わせ、「アベノミクス」の破綻を覆い隠すものです。労働者の実質賃金は低下し続ける一方、企業の内部留保は過去最大です。個人消費の活性化がなければ、経済の回復はありません。官製春闘がスタートしましたが、経済界は、景気の先行き不透明感から慎重姿勢です。私たちは改めて、春闘の歴史に学び、春闘の実質を許さないために、取り組みをより一層強化することが急務です。16春闘要求についてはJR各社へ提出し、回答指定日を3月16日としています。「一人一要求運動」など全組合員が職場からの春闘再生を目指す必要があります。JR貨物における16年連続「ベアゼロ」回答を打破する闘いを客貨一体となり強化するためにも、3・10国労中央総行動への結果など全力を挙げていくことが求められています。

次に、組織強化・拡大の取り組みについてです。  
私たちは「全ての闘争を組織拡大の取り組みに集約しよう」と、全機関で実践を積み上げてきました。昨年11月には、一括解散以降、組織拡大が100名を超えたことを受け、「組織拡大100名達成！国労運動のさらなる発展をめざす」レセプションを開催し、取り組みのさらなる前進に向けた決意を固めてきました。職場改善活動の積み重ねなど持続的な取り組みが拡大へと結びついたことは明らかです。労働条件改善の闘いと組織拡大の取り組みは一体であり、拡大運動を具体的に追求しなければなりません。国労運動を継承・発展させていくために、新規採用者をはじめグループ会社を含めた幅広い年齢層の国労加入を勝ち取るために、総力を挙げることを確認したいと考えています。

次に、安全・安定輸送の確立と労働条件改善の取り組みについてです。  
JR各社では、外注化施策、非正規社員の拡大など、あらゆる合理化施策を押し進めています。電化柱倒壊事故をはじめ輸送障害の多発、慢性的な要員不足と技術力低下により、安心して働き続けられる環境が奪われ続けています。安全・安定輸送の確立に向け、労働組合の任務として、今後ともチェック機能をより高め、抜本的対策を求めたいと考えています。また、グリーンスタッフの正社員化や関連会社社員の労働条件改善など、全ての労働者の処遇改善と権利確立をめざす取り組みも必要不可欠です。全系統に及ぶ業務委託体制の検証、職場労働条件向上の実現に向け、「安全・仕事総点検運動」を年間闘争として展開しなければなりません。全ての闘いの強化に向け国労東京地方本部がその先頭に立ち、奮闘することを申し上げ、執行委員会を代表しての挨拶といたします。

## 立川駅連分会 加入歓迎会開催

八王子地区本部立川駅連分会は、二月五日に八王子において、一二月に国労加入した西国立駅(JESS)河野礼(かわのあきら)さん(三七歳)の歓迎会を開催した。一月(二二月開催)に続く歓迎会となった。宮下分会長からは「加藤さんに続いての入会ありがとうございます。職場で問題があれば、何でも言って下さい。できないこともあるけれど、できる事は一杯やります」などのあいさつがされ、乾杯がされた。八王子地区本部・渡部教宣部長から国労パッジ・国労組合員証が渡され、かけつけた、立川地区協・大門議長、八王子宮協・春風議長からもお祝いの言葉があった。JESS-U労組池田委員長からは「河野さん



河野さんと地区本部 渡辺教宣部長

# 組織 神奈大へ交流本部開催 八王子地区本部

神奈川地区本部は二月一四日～一五日に「職場労働条件改善 組織強化・拡大経験交流集会『労働法制大改悪』「オキナワ」を学ぶ」をホテルニューアカオ(熱海)において開催した。

長瀬委員長は「昨年もここで開催し、分会の取り組み状況が報告されていて、実際に三月の地区本部拡大委員会で加入が報告された。分散会でしっかり議論し、職場でさらに取り組みを進めてもらいたい」などの主催者あいさつを行った。

続いてDVD「オキナワ・未来への証言」が上映され、次に「労働法制改悪の現段階」の講演を福田弁護士より受け、服部書記長から基調が提案された。全体集会后、系統別に七つの分散会(営業・設備・貨物)に分かれてさらに議論がされた。

二日目は、東日本本部・武田組織部長から「東日本本部拡大委員会報告と組織強化・拡大」について提起され、地方における拡大の経緯が報告され、「とてもいい話だった」「もっと聞きたい」と好評だった。分散会報告では「他労組との違いを見せていく」「つながりはあるが、声をかけられていない。声掛けを行う意思統一をした」などの報告がされた。全体討論がされ、最後に服部書記長から「職場労働条件改善 組織強化・拡大経験交流集会『労働法制大改悪』「オキナワ」を学ぶ」をホテルニューアカオ(熱海)において開催した。



神奈川地区本部 長瀬委員長



河野さんと中嶋青年部長

八王子地区本部は二月一四日～一五日に石和温泉において、組織拡大交流集会を開催した。

田中委員長は「西国立駅での二名の拡大は、組織を活性化させた。これに続く拡大は急務。労働組合は仲間が必要。仲間がいたから、問題を乗り越えてこられた。他労組の人たちは私たちを見ている。自覚を持ってやってほしい」などの主催者あいさつを行った。続いて、東京地本・松川書記長から情勢報告が、東日本本部・彦田青年部長からは、東日本本部青年部の取り組みなどが報告された。東京地本・中嶋青年部長からは、集まる機会が少ないが、足を運んで顔を合わせる努力をしている事など青年部の取り組みが報告された。

続いて立川駅連合分会・宮下分会長から「分会の普段の取り組みや元職場の方のつながりで加藤さん、河野さんが加入。武蔵小金井駅のとときに三名の若い人たちが加入してくれた。続く若い人を加入させたいと思っただけ」加入した河野さんからは「魅力あふれる先輩方に賛同し加入しました。国労の一員として頑張ります」などのあいさつがあり、歓迎の檄も贈られた。最後に熊田組織部長から提起がされ、全体交流は終了した。

その後、各部屋に分かれて分散交流会が行われ、さらに議論が続いた。

翌日はJESS-Uから参加の佐久間さん、西国立駅で加入の加藤さんの紹介がされ、昨日の分散会の報告がされた。八王子信通技七分会からは「三鷹の宿直部屋は、とても寝られる場所ではなく、一〇年交渉し移転させた。シャワーのみ、トイレ男女兼用で、更に改修を言い続ける」、八王子電力技七分会からは「電卓が故障したが、『自分で買って』と言われたが、これは消耗品だと言いい会社に買わせた。若手も、『仕事で使うものですよ』と共感。若手が物を言える環境を作っていかなければ」などの報告がされた。最後に横森書記長から「今の職場があるのは、国労の人の声を上げているから。会社も国労の人の言葉を注目している。国労の良さは、労働条件改善だけではなく、温かい、相談に乗ること。しかし、それイコール加入にはなっていない。一人ひとり地道に『いこう』などのまとめがされ、最後に田中委員長の団結がばらうで、更なる拡大を全体で誓い合った。



立川駅連・宮下分会長と加藤さん

# 地本運車協 定期委員会

東京地本運輸車両協議会は、二月一日に、万世橋出張所区民館(秋葉原)において、第五回定期委員会を開催した。

主催者挨拶として安濃議長から、職場での過密労働で安全を脅かされていること、検修職場の外注化・委託化が様々な問題点を生んでいること等の報告と挨拶がされた。来賓挨拶として東京地本・松川書記長から戦争法反対に対する取り組み、組織拡大の取り組み、安全・安定輸送に対する検証、春闘の闘いなどの挨拶がされた。

その後の活動方針の討論がされ、田端運輸所の天野さんからは、「病気発生者が五名。仕事がつつく心身ともに疲弊。技術継承ができず、ミスが頻繁」、大宮総合車両センターの新井さんからは、「車両が老朽化しているのに、新しい車両が入らず苦慮。故障が頻繁。予備部品がなく仕事ができない」、蒲田電車区の堀井さんからは、「京浜東北線運輸区構想で国労組合員七名中五名が希望地以外の事前通知。ダイヤ乱れで余計に混乱がひどくなった。再編で効率の悪さを露呈」などの発言があり、活動方針は承認された。

最後に、役員は原島副議長が退任、三留副議長が新たに就任(他は留任)したことを確認し、安濃議長の団結がばらうで閉会した。



## 「がん」の保障 《新生きるためのがん保険Days》

保険期間：終身(抗がん剤治療特約は10年更新) 契約年齢：0歳～満85歳

Aプラン 入院給付金日額10,000円の場合

初めて診断確定されたとき	がんの場合 一時金として 100万円 上皮内新生物の場合 一時金として 10万円
入院したとき	入院給付金 1日につき 10,000円
通院したとき	通院給付金 1日につき 10,000円
手術したとき	手術治療給付金 1回につき 20万円
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金 1回につき 20万円
抗がん剤治療を受けたとき (上皮内新生物は対象外)	治療を受けた月ごと 10万円(給付倍率2倍) 乳がん・前立腺がんのホルモン療法のととき 治療を受けた月ごと 5万円(給付倍率1倍) <small>(更新後の保険期間を含め通算600万円まで)</small>

※ Aプランの場合、抗がん剤治療給付金はご希望により取り外すことができます。

がん専門相談サービス プレミアサポート 訪問面談サービスと専門医紹介(このサービスは、株式会社法研が提供するサービスです)

◎詳しくは、「契約概要」等をご覧ください。

## 「生きる」を創る。Aflac

◆月払保険料(集団取扱) (2014年10月10日現在)

新生きるためのがん保険 Days Aプラン

入院給付金日額10,000円 定額タイプ 解約払戻金なしタイプ  
保険料払込期間：終身(抗がん剤治療特約は10年更新)

	35歳	45歳	55歳	65歳
男性	3,450円	5,400円	8,920円	14,110円
女性	3,800円	5,370円	6,560円	8,050円

<抗がん剤治療特約>の更新後の保険料は更新時の年齢・保険料率によって決まります。

<募集代理店>

アベニール株式会社

〒105-0004 東京都港区新橋5-15-5 交通ビル3F

電話 03-3437-6810 ファックス 03-3437-6822

<引受保険会社>

アフラック 東京第二法人営業部

〒163-0466

東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル

当社保険に関するお問い合わせ・各種お手続き

コールセンター 0120-5555-95